

Step UP!

2015年4月16日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 36 編集責任者 情 宣 部

どこかの会社と似ている

かの有名なファストフード店が4月から基本給を引き下げる。対象者は評価順に分けられた四つの等級のうち下から1、2番目の等級の社員で、引き下げる理由は「業績の悪化」。しかし会長には役員報酬と退職金で合計数億円が支給されるそうなの。現場との報酬格差は大きく店舗社員からは「現場のモチベーションは上がらず、サービスレベルの低下につながりかねない」と不満の声も出ている。

経営が悪化したのは会社の営業方針によって現場が過酷な労働条件になり、立て続けに異物混入が発生したことも要因の一つ。言うまでも無く責任は経営陣にある。これらの現状からこの会社では社員の退職の流れが発生しているという。

何かおかしくないか？

なぜ経営陣の責任を現場で働く者に押し付けるのか。過酷な業務を必死でこなしてきた挙句に給料カットされれば退職を考えるのは当たり前だ！現場を見ない会社に未来なんて無い。こんな経営手法は絶対に間違っている！！

J R 貨物 経営陣の皆様

J R 貨物は大丈夫ですよ？